

演奏にあたっての一言

～題名をたどって～

第一部

① G線上のアリア

1721年頃にバッハが作曲し、1871年にドイツ人ヴァイオリニストのアウグスト・ヴイルヘルミがバイオリン用に編曲したことによりこの題名で広く知られるようになった。アリアに相応しく呼吸に合わせた演奏をお送りします。

② 山小舎の灯

黄昏時の北アルプスに微かに灯る明かり。山脈の険しさとは対照的に、歌詞に登場する色彩は心ぬくもるものばかり。親しみやすい旋律をしっかりと奏でます。

③ 迂りゆく稜線

揺れる電車の窓から迂って見える澄み切った青空と連なる山々の境目。作曲者の福岡英司さんは、作曲に当たって幻想的でどこか懐かしい雰囲気仕上げ、題名の「すべる」をあえて国字にしたそうです。車窓からの風景を思い浮かべながらお聞きください。

④ 明日に架ける橋

激流に架かる橋のように、自分が危険にさらされても相手を安全なところへ渡らせるという主人公の強い信念。主旋律、伴奏、副旋律をパートごとに分業した編曲で、友情、愛情へのエールをお送りします。

⑤ マッシュケナダ

マッシュケナダとは、「何いってんだい！」を意味する感嘆句。「何いってんだい、こんなに面白いサンバをもう踊るなと言うのか、いやいや、私は踊りたいので退いてくれ！」と強引に先を急ぐ主人公。侍カノンも強引と言わんばかりに遠慮なく演奏します。

第二部

① 歌の翼に

ハイネの同名の詩をもとに作曲された幻想曲。歌の翼に乗って辿りつくところはガンジス川の岸边。そこはスマレ、スイレン、バラなどの香りが漂う異国情緒あふれる幻想の世界。川の流れと花の香りを想起させるような、しっかりとしたアルペジオをお楽しみください。

② 想いが届く日

心が通じ合う日に思いを馳せて、未来を夢想するこのタンゴの主人公。想いが届かない日々は、焦りや悲しみではなく希望に満ちている。主人公の熱い想いを情熱的な独奏でお届けします。

③ 亡き王女の為の Pavane

この題名は、歴史上の出来事ではなく脚韻的な言葉の組み合わせ (PavaNE pour uNE infaNTE défuNTE の大文字部分の脚韻)、とラヴェルは説明している。遊び心があふれるこの曲を甘いタッチでお送りします。

第三部

① Lovin' you

すれ違っても、傷ついても、別れても、愛しい人を選び続ける主人公。ときにはほろ苦く、ときには甘く演奏して主人公を応援します。

② 花は咲く

作曲者の菅野よう子さんは、作曲に当たりこの曲が「透明な器」となり、演奏者や聞き手の気持ちをそっと受け止める曲となるよう、心掛けたそうです。柔らかくも力強く、暖かみを感じられるよう演奏します。

③ 雑司が谷ワルツ

作曲者の福岡英司さんは、ラジオから流れた「ビートルズは場所にちなんだ曲が多い」という話をヒントにして、カノンが練習の拠点とする町「雑司が谷」を題名に入れてシンプルに命名したそうです。カノンの練習の様子を想起させるように、活気に満ちた粋な演奏を心掛けます。

④ 仮面舞踏会

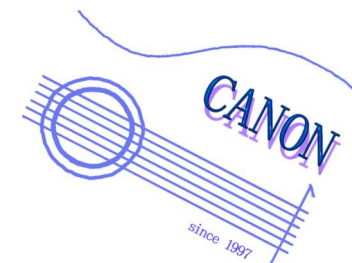
同名の戯曲の第一幕で主人公は、「この新しいワルツは何と美しい、悲しみと喜びの間にあるものに心を奪われる。」と言う。この台詞をもとに作曲されたワルツだが、仮面舞踏会で優雅に踊る主人公は、終幕で夫の嫉妬により毒殺されること、人生で最後に踊るワルツであることをそのとき知るすべもない。迫りくる運命を暗示させるようなスケールの数々。カノン結成から16年目にしようやくお届けできるようになった渾身の一曲です。

ギターサークル・カノン

第12回定期演奏会

2013年11月23日

～プログラム～



指揮 長谷川郁夫

第一部

① G線上のアリア

J.S.バッハ作曲／西山英和編
全体合奏

② 山小舎の灯

米山正夫作曲／布山倅三編
でこちゃんず

③ ^{すべ} 迂りゆく稜線

福岡英司作曲
チンアナゴ

④ 明日に架ける橋

P.サイモン作曲／渡辺香津美編
トミーズ・ガールズ

⑤ マシュケナダ

J.ベン作曲／西山英和編
侍カノン

休憩 15分

第二部

① 歌の翼に

F.メンデルスゾーン作曲／西山英和編
なでしこカノン

② 想いが届く日

C.ガルデル作曲／V.ビジャダンゴス編
ひとりぼっちいず

③ 亡き王女の為の帕ヴァーヌ

J=M.ラヴェル作曲／西山英和編
トリストティ

④ 講師演奏

せんせい

休憩 15分

第三部

<全体合奏>

① Lovin'you

渡辺未来作曲／長谷川郁夫編

② 花は咲く

菅野よう子作曲／西山英和編

③ 雑司が谷ワルツ

福岡英司作曲

④ 仮面舞踏会

A.I.ハチャトゥリアン作曲／飯野なみ編

司会 黒田公子